

## 議案 第1号

### 令和5年度事業報告

#### ◎会員の状況

令和5年4月1日現在	283名
令和5年度 入会者数	2名
令和5年度 退会者数	10名
令和6年3月31日現在	275名

#### 1 医療保険制度の円滑な運営に関する事業

##### (1) 医療費支給申請書の審査に協力し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

新潟県柔道整復師会審査委員会、協会けんぽ新潟支部柔道整復療養費審査委員会施術者審査委員、新潟県国民健康保険柔道整復師施術療養費審査会審査員及び新潟労働局柔道整復師施術費用審査委員として審査業務に協力した。

##### (2) 保険取扱研修会を開催し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

会員柔道整復師の知識の向上と療養費の適正な請求を行うための保険取扱研修会を開催した。

###### ① 日時：8月27日（日）午後1時から午後4時

会場：新潟市万代市民会館 6階多目的ホール

参加者：152名

講師・内容：

- 関東信越厚生局新潟事務所 指導課長 野本一浩氏  
第一指導係員 竹田拓矢氏

演題「柔道整復師の施術に関する制度について」

- 新潟県国民健康保険団体連合会 審査業務二課 課長補佐 菅野恵美子氏  
専門員 山口岳美氏

演題「療養費請求における新潟県国民健康保険団体連合会の状況と注意点について」

- 全国健康保険協会新潟支部 業務グループ長補佐 小野寺了氏
- 演題「療養費申請と協会けんぽの取り組みについて」

- 新潟県柔道整復師会 保険部長 市川寿秀氏

演題「最近の保険者の動向とその対応について」

###### ② 日時：9月10日（日）午後1時から午後4時

会場：新潟県柔道整復師会館 4階 大会議室

参加者：40名

講師・内容：上記（8月27日）のビデオ撮影したもので聴講

### ③ 各ブロック保険研修会

#### ・上越ブロック

春季：4月22日（土） 参加者：会員42名

市川保険部長より「保険取扱等について」説明を受けた。

年末：12月16日（土） 参加者：会員47名

金子会長より「柔道整復師業界の動向について」・市川保険部長より「保険取扱等について」説明を受けた。

#### ・中越ブロック

12月9日（土） 参加者：会員37名

金子会長より「柔道整復師の業界動向について」・市川保険部長より「保険取扱等について」説明を受けた。

#### ・下越ブロック県央地区

11月3日（金・祝） 参加者：会員16名

金子会長より「柔道整復師の業界動向について」説明を受けた。

#### ・下越ブロック新潟地区

11月23日（木・祝） 参加者：会員29名

金子会長より「柔道整復師の業界動向、オンライン資格確認について」説明を受けた。

(3) 新入会員を対象として講習会を開催し、柔道整復師の保険取扱業務指導を行った。

○講習会を5回開催し、全新入会員が受講した。

(4) オンライン資格確認の説明会を行った。

令和6年4月からマイナンバーカードによるオンライン資格確認の開始に備えて会員に周知を図るとともに、令和6年3月10日（日）に説明会を開催した。

## 2 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復術の医学的研究に関する事業

(1) 学術研修会を開催する。

○4月22日（土） 上越ブロック春季学術研修会 参加者：会員42名

講師 新潟労災病院 整形外科副部長 酒井瑛平 先生

演題 「首・肩・足のミカタ」

○11月3日（金・祝） 下越ブロック県央地区学術研修会 参加者：会員16名

①講師 医療法人社団 榎本外科医院 院長 榎本剛彦 先生

演題 「施術で鑑別が必要な内科的疾患について」

②講師 和田浩一 会員

演題 「匠の技 プロジェクト 足周辺の骨折」

○11月23日（木・祝） 下越ブロック新潟地区学術研修会 参加者：会員29名

講師 新潟万代病院副院長 関節再建センター長 宮坂 大 先生

演題 「日常業務で鑑別が必要な股関節疾患について」

- 12月9日(土) 中越ブロック年末学術研修会 参加者：会員37名  
講師 医療法人 晴生会 介護老人保健施設「葵の園・長岡」 施設長・医学博士  
中越ブロック学術顧問 立川厚太郎 先生  
演題 「高齢者の特性～運動機能の評価と運動療法・注意点～」
- 12月16日(土) 上越ブロック年末学術研修会 参加者：会員47名  
講師 上越地域医療センター病院 整形外科部長 小坂泰啓 先生  
演題 「境界領域で留意すべき上・下肢の外傷～自戒の念を込めて～」
- 会員学術発表

2月25日(日) 新潟東映ホテルにて開催され、102名の参加があった。

- ・特別外部講演 講師：新潟医療福祉大学リハビリテーション学部  
理学療法学科 教授 江玉睦明 先生  
演題：「スポーツ障害の評価・治療に対するエコーの活用」
- ・会員論文発表：長澤弘樹 会員  
演題：「外傷性肩関節脱臼（烏口下脱臼）の整復法についての一考案」
- ・会員実技発表：大橋 保 会員  
演題：「半月板ロッキングに対する整復法～靭帯損傷による動揺性を伴う症例～」

なお、長澤弘樹会員・大橋 保会員には、令和6年6月に長野県で開催の北信越学術大会に新潟県代表として参加いただきます。

(2) 日整学術・生涯学習講習会に協力する。

11月18日(土) 日整会館で開催され、金子会長及び丸山副会長が出席した。

(3) (公社)日本柔道整復師会北信越学術大会を主管で開催した。

(公社)日本柔道整復師会第43回北信越学術大会新潟大会が、6月17日(土)・18日(日) ANAクラウンプラザホテル新潟において主管で開催し、総勢164名(うち県外67名)の参加があった。

特別講演には、医療法人愛仁会亀田第一病院新潟脊椎外科センター長 長谷川和宏先生より「患者さんは我が教師」と題して講演を受講した。

会員発表には、本会を代表して佐藤大輔会員が「南魚沼グルメマラソンにおけるテーピングブース活動報告」について発表があった。また、特別協賛発表として学校法人新潟医療学園新潟柔整専門学校非常勤講師の川谷悠也会員より「接骨院に於ける外傷の治療経験～良好な結果を得た脱臼骨折2症例について～」発表があった。

(4) 新潟柔整専門学校との協調を図る。

例年実施している新潟柔整専門学校での業界説明会について今年度は実施されなかったが、3月16日(土) 新潟ユニゾンプラザで開催された同校卒業式に金子会長が出席し祝辞を述べ、優等卒業生に対し表彰状を授与し、学校との連携協調を図った。

### 3 柔道整復師並びに柔道整復術の普及、啓発に関する事業

#### (1) 一般県民及び柔道整復師を対象とした公開講座を開催する。

○中越ブロックにおいて公開講座を行った。

一般社団法人キネシオテーピング協会と共催で、9月30日(土)に新潟県柔道整復師会館において、スポーツ愛好家や柔道整復師を対象に公開講座としてスライドや動画を見ながら、本会の大橋 保会員と中澤幸治会員が講師となり、「2023 体験!! キネシオテーピング」を体験していただいた。参加者は16名であった。

○新潟県民医療推進協議会の会員として県民に対し健康意識の向上を図るための健康寿命延伸フォーラムの事業に協力した。

#### (2) 会員研修会を開催する。

○「匠の技 伝承」プロジェクト事業を次のとおり実施した。

- ・指導者候補者4名：小林英樹会員、早川雅成会員、和田浩一会員、金谷隆史会員
- ・受講方法：4月は、日整会館にて早川雅成会員、和田浩一会員が参加。

その他は、本会館においてオンラインによる画面を視聴する形で実施。

・受講日及び内容

4月16日(日) 「足周辺の骨折(外果骨折)・顎関節脱臼」実技実習

11月5日(日) 「手部・手指の骨折・脱臼」整復固定施術技術実習

2月11日(日) 「足部・足指の骨折・脱臼観察法」超音波観察装置取扱技術実習

#### (3) 機関誌「新整広報」第53号を発行する。

年1回の発行であるが、会員から投稿を募集するなど内容を充実させ、2月1日発行し会員及び関係団体等に向けて郵送した。

#### (4) 情報公開を推進するとともに、ホームページの積極的な利用を促進する。

本会ホームページの一般用、会員用とも内容を充実させるとともに、タイムリーな内容を掲載するよう努めた。

「新整広報」や重要な通知等も保存可能となり情報検索が容易となった。

#### (5) (公社)日本柔道整復師会諸事業に積極的に参加し協力する。

代議員として参加協力した。

#### (6) 北信越ブロック会諸事業に積極的に参加し協力する。

各県会長会が5回、理事会が2回開催され、金子会長、丸山副会長、市川副会長、加藤理事が出席した。

#### (7) 会員の加入促進を図る。

新潟柔整専門学校の入学式及び卒業式において、会長挨拶の中で本会の説明を行い加入促進・勧奨を図った。

### 4 県民の健康、保健、介護及び福祉増進に関する事業

(1) 県内市町村の健康増進事業に積極的に参加するとともに、その運営に協力する。

上越ブロックでは、関係各課との情報交換懇談会を開催した。

○10月7日(土) 妙高市関係各課懇談会 参加者：会員7名

○10月28日(土) 上越市健康福祉部関係各課との研修会 参加者：会員23名

○10月28日(土) 柏崎市関係各課との研修懇談会 参加者：会員12名

(2) 医師会及び関係団体との連携を強化する。

本会及び協会けんぽ新潟支部・健保連新潟連合会との三者懇談会を1月16日(火) ANAクラウンプラザホテル新潟で開催した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し開催を見送っていた医師会との懇談会を3月14日(木) ANAクラウンプラザホテル新潟で4年ぶりに開催し、医療をめぐる諸問題について情報交換を行った。

(3) 介護保険制度への積極的な参画及び推進を図る。

新潟市他6地域での介護認定審査委員、上越市他1市の地域包括センター運営協議会委員等として、地域の介護保険制度の推進に積極的に参画した。

また、妙高市の介護予防事業「リハビリ健康講座」の機能訓練指導員として会員6名が委嘱されている中、9回の講座が開催され、延べ119人の参加があった。

(4) 各地域で健康教室の開催など、地域住民の健康の保持増進を目的とした事業を推進する。

○9月16日(土)・17日(日)アオーレ長岡にて「すこやか・ともしびまつり2023」が開催され、中越ブロック長岡地区会員10名が参加した。

来場者133名に「ストレッチングボード測定とテーピング体験」をしていただき、34名の健康相談を受け、市民に対して接骨院・整骨院の役割や健康づくりのアドバイスをした。

○新潟市内の5体育施設において、新潟市開発公社主催で通年開催されている健康教室に外部講師として依頼を受け、4名の会員が参加し指導を行った。

延べ指導回数31回、延べ参加市民は427名でした。

5 教育、スポーツ等を通じて県民の心身の健全な育成並びにスポーツ競技者、障がい者の支援に関する事業

(1) 各種スポーツ大会に協力する。

県内外各所で開催されたマラソン大会をはじめ柔道、空手、バレーボール等の大会に多くの会員が救護ボランティアとして協力した。

(2) 第34回新潟県柔道整復師会県下少年柔道大会・第12回形競技大会を開催する。

7月30日(日) 上越市「謙信公武道館」において、全柔連の新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針に準じて、参加者の安全面を第一に考慮して大会を開催した。

参加選手は、柔道大会28団体106名、形競技会3チーム12名でした。

- (3) 第32回日整全国少年柔道大会、第13回日整全国少年柔道大会形競技大会、第4回全国柔道整復師高段者大会に参加し開催に協力する。

11月19日(日)東京都「講道館」において大会が開催され、当県からは、少年柔道大会で監督：牛木幹人会員、コーチ：加藤智範理事、選手：大将に高橋慧太君、副将に小泉大幹君、中堅に山口大門君、次鋒に市井 凱君、先鋒に若槻匠吾君が出場した。成績は「1-3」で惜敗し1回戦敗退でした。形競技では監督：長澤美希氏、取：小林 苺さん、受：池上しずくさんが出場した。成績は予選Bブロックで7位の結果で決勝進出は果たせなかった。また高段者大会では六段の部に、古谷富治会員と桑名和行会員が参加し、古谷富治会員が優秀選手賞を受賞しました。

## 6 公衆衛生、災害、治安の維持に関する事業

- (1) 新潟県総合防災訓練及び各市町村の防災訓練に参加し協力する。

新潟県・関川村総合防災訓練が10月15日(日)に「10月14日(土)昼頃から翌朝にかけて、東北地方から北陸地方に停滞した前線による線状降水帯の活動が活発化し、新潟県岩船地域では大雨特別警報が発表され、断続的に非常に強い雨が降り続き、下関雨量観測所(関川村)で149mm/hを観測する記録的な豪雨となった」との想定の中、日本赤十字社とともに指定避難所内応急救護所の開設・運営及び一次トリアージされた傷病者を受け入れ、トリアージにより判明した軽症者に対する応急処置の実動訓練に参加した。

- (2) 上越市総合防災訓練

上越市中郷地区で「10月15日(日)午前8時30分高田平野西縁断層帯を震源とする地震が発生し、上越市中郷地区で震度6弱を観測、区内では家屋の倒壊や土砂崩れのほか、事業所や住宅で火災が発生している」との想定の中、市職員と協力して救護所の開設・運営訓練と傷病者への応急手当の実動訓練に参加した。

- (3) 五泉市総合防災訓練

「県内において8月27日(日)未明から50mm/hの激しい雨が降り、新潟地方気象台が五泉地域に大雨・洪水警報を発表。橋田小学校に避難所を開設し、対象地域に高齢者等避難が発令」された想定の中、避難所内での応急医療活動訓練に参加した。

- (4) 新潟県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団として、災害救護活動に取り組むとともに、日本赤十字社新潟県支部の救護活動に協力する。

日赤救護活動方針に基づき、県内外各所で開催された各種スポーツ大会に救護ボランティアとして救護活動に協力するとともに、日本赤十字社新潟県支部に「日赤救護活動」に対して金一封贈呈した。

・救護活動：52回      ・救護者：755名

- (5) 「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」の活動に参加するとともに地域社会と一体となって、犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力する。

推進協議会の構成団体として犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力した。

- (6) 「こども・女性・おとしより・かけこみ110番」の設置運用を推進する。  
新入会員にステッカーを配付し施術所に設置している。
- (7) 災害時における救護活動を円滑に行うため、組織体制の確立を図るとともに人材育成に取り組む。  
柔道整復師こそが災害現場で活躍できることを社会に向けて発信し、救助現場から復興までどのように活躍できるかの体制づくりを進めていくため、本会の災害担当者に丸山総務部長と加藤事業部長を日整に登録。
- (8) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部運営協議会に参加した。  
各都道府県に所在する災害共済給付事業の円滑な実施運営を図るため、地域の関係団体との連携による事故防止情報及び学校等における事故防止情報等について意見交換を行う中、本会の事業への取り組みの現状について報告した。

## 7 会員の福祉増進及び相互扶助に関する事業

- (1) 共済部事業を推進する。  
規約に基づき、結婚祝金3件、傷病見舞金9件、香典6件、災害見舞金8件（能登半島地震関連）及び祝電、弔電並びに生花を贈呈した。
- (2) 全国国民年金基金に協力する。  
会務報告にリーフレットを同封する等、会として事業に協力した。
- (3) 新潟県柔道整復師協同組合の活動に協力する。  
本会ホームページの新潟県柔道整復師協同組合のページに、お得な商品のチラシ等を紹介した。  
また、会務報告にチラシを同封するなど会員の物資販売事業に協力した。
- (4) 会員に有益な情報を提供する。  
日整及び関係機関等からの会員にとって有益な各種情報を会務報告や会員ホームページに随時掲載し情報の提供に努めた。
- (5) 第38回新整ゴルフ大会を開催する。  
5月7日（日）長岡市の長岡カントリー倶楽部にて会員及び関係業者10名が参加し開催された。  
優勝：高橋國廣会員、準優勝：中井裕介会員、第三位：小山章夫氏（株）エス・エス・ビー

## 8 その他本会の目的達成のために必要な事業

- (1) 新潟県柔道整復師会館の有効利用を図る。  
保険取扱再研修会及び新入会員保険請求事務講習会、広報委員会、柔道スポーツ委員会、保険委員会等の開催に利用した。